

COOP

Talk Talk トークとーく

「食の安全」を支え、子どもたちの
「生きる力」をはぐくむためにー

●京都府副知事

さむら ともこ
佐村 知子さん

●京都府生活協同組合連合会会長理事
(京都生協理事長)

こばやし ともこ
小林 智子さん

CONTENTSは2ページへ

2004 AUGUST NO. 53
発行 ● 京都府生活協同組合連合会



対談

TalkTalk

トークとーく

「食の安全」を支え、子どもたちの「生きる力」をはぐくむために――

京都府生活協同組合連合会会長理事（京都生協理事長）

京都府副知事 佐村 知子さん
さむら ともこ

京都府副知事 佐村 知子さん
こばやし ともこ

BSE、O157、鳥インフルエンザ、コイヘルペス……。食品の安心・安全をおびやかす問題の頻発を契機に、京都府は食の安心・安全をめざすプロジェクトを立ち上げた。農林水産部・保健福祉部・商工部を横断するこのプロジェクトを率いるのは副知事の佐村知子さん。今回は、佐村さんの食にまつわる思い出や食品安全行政への思いをつかかった。

京都の魅力と「食」の文化

小林 先日は私も生協連の総会にあたりまして山田知事からご祝辞をいただき、ありがとうございました。また、佐村副知事には、京都生協の総代会に来賓としてごあいさつをいただき、あらためて御礼を申し上げます。

ところで、京都にいられて、もう2年になりますか。京都のまちの印象はいかがですか。

佐村 府庁と自宅（北山にある公舎）の往復が主で、京都をよく知っているとはとてもいえ

ないのですが、まちのサイズが大きすぎず小さすぎず、ちょうどいい感じがします。それに、京町家のように、伝統を感じさせるたたずまいが残っています。だから、人びとをひきつけるんですね。じつは、私が「京都」を感じるのには、たまに週末に東京へ戻ったときなんです。近所の本屋さんに行くと「京都本」が山積みですし、京野菜を扱う食料品店、料理店もふえていて、「ああ、やっぱり京都って魅力的なまちなんだなあ」

と思いますね。

小林 外国の方や他府県の方がたが京都に関心を持ってくださることで、逆に私たちが京都のよさを再認識しているような面もあります。とくに最近はお公家さんを中心とした貴族の文化だけではなく、町家やおばんざいなど、庶民の生活文化が見直されていて、私たち京都の生協もそれをちゃんと引きついでいけたらと思っているのです。が、おばんざいはお好きですか。

佐村 大好きです（笑）。とくに「エビイモと棒ダラの煮物」や「ニシンとナスの炊き合わせ」が好きですね、自分ではよう作

C/O/N/T/E/N/T/S

トークとーく対談

「食の安全」を支え、子どもたちの「生きる力」をはぐくむために―― 2

消費者政策の充実・強化をめざす

とりくみについて 7

京都府生協連第51回 通常総会開催 8

ピースアクション2004 京都～平和行進～ 10

2004年 国際協同組合デー第15回 京都集会開催 12

第39回 学生の消費生活に関する実態調査報告 14

TOPICS 15

●府内養鶏家を励ますつどいをJAと共催

●山田啓二京都府知事からお礼状をいただきました

●京都生協「ジェンダーフリーを考える懇談会」と共催で学習会開催

●「きょうと食の安心・安全政策検討会」開催

●「京ブランド食品認定委員」に小林会長理事が就任

●「京都府中山間地域等直接支払制度委員」に小林会長理事が就任

●京都商工会議所との懇談会が開催されました

おもな行事のお知らせ 16

架空請求110番開設!! 16



京都府副知事
佐村 知子さん

りませんけど（笑）。でも、「ミズナとお揚げ」や「万願寺トウガラシとチリメンジャコ」を炊いたものなど、見よう見まねで作ってみて、家族の好物になりました。

小林 私も、この季節になると万願寺トウガラシをよく使います。といっても、ただ焼くだけで、とても料理とはいえませんが（笑）。

佐村 そうそう、万願寺トウガラシは焼くのが一番ですね。私も教えられて、実際にやってみましたが、こんなに簡単でいいのかと思うぐらいシンプルなお料理なのに、とてもおいしくて、びっくりしました（笑）。

小林 考えてみると、京都では、おナス、お豆腐、お揚げさん、お豆さん…というふうに、ふだんよく食べるものには「お」や「さん」を付けてよびます。それだけ、ふだんの食事を大切にしてきたのだろうなと思いますが、佐村さんの「食歴」でと

くに印象に残っているのはどんな食べ物ですか。たしかご出身は長崎でしたね？

佐村 好き嫌いは別にして、子どものころよく食べたのは皿うどんとチャンポンです。母があまり丈夫なほうではなかったので、夕飯は中華料理屋さんから出前をとることも少なくなくて、そういうときの定番が皿うどんでした。なぜかというところ、カキやアサリなど味の出る魚介類をたくさん入れるし、野菜もたっぷり入ってますでしょう。1食でバランスのとれた総合食になるんですね。でも、少し脂っぽいので、私じしんは当時は苦手でした。

小林 長崎の中心部にお住まいだったんですか。

佐村 ええ、長崎は江戸時代に京都との交流もけっこうあったので、家の造りも京都の影響をうけていたように思います。入り口には格子戸、玄関には上がりの間、台所とお風呂は離れて、夏には襖をはずしたり、よしずをかけた…です。それから、京都で町家を見たとき、どこかなつかしい感じがしましたね。印象に残っている食べ物、

父方の祖母がつくってくれたイワシのつみれや焼きアゴ（トビウオ）のふりかけです。祖母は、新鮮な近海の魚が手に入る平戸の出身でしたから、生のイワシや焼きアゴを何時間もかけて叩いたり、すりつぶしたり、手間をかけて調理していました。まさに「スローフード」そのものです。

小林 なるほど。京都は逆に、新鮮な魚が手に入りやすい内陸部が大部分ですから、この環境に合った料理が発達しました。

佐村 私などは魚といえませんが、魚を思い浮かべるのですが、京都では一塩（ひとしお）もののお魚のことをいうんですね。

新鮮な魚が手に入りやすかった地域性を逆手にとつて、ぐじ、鯖ずし、ばらずし…というふう

に、魚をおいしく食べる方法を編み出し、それが伝統食としてちゃんと受けつがれてい



京都府生活協同組合連合会会長理事
（京都生協理事長）
小林 智子さん



お得意な料理は…… 「必殺卵焼き」なんです

小林 私は、少し前に、町家があるような京都市内から朝市が立つような農村に引っ越ししました。せっかく農村に住んでいるのだから旬の野菜で暮らそうとがんばっているのですが、旬というのは、とにかく同じ野菜ばかりとれるんですね。ですから、いまは毎日、ナスにキュウリにトマトの連続ですが、やっぱり旬の野菜はおいしくて、しかも安い。まさに「旬を食べる」ことの裏と表を実感する日々をすごしています。それに、黒豆の産地ですので、黒豆だけはじょうずに炊こうと決意して、何度も炊いているうちに、ずいぶんじょうずに炊けるようになりました(笑)。



佐村 私もひとつだけ、決めていることがあるんですよ。それは「おみおつけのだしとお味噌だけは大事にしよう」ということ。子どもが生まれたときにそう決めて、いまでも、おだしは煮干しや鰹節や焼きアゴでとって、お味噌は母方の叔母の手づくりのものを使っています。ただし、他は手抜きばかりしていますすけど(笑)。

小林 それは意外なお話です。ずっとたいへんお忙しいお仕事をつづけてこられた方だから、おそらく毎日はお料理する時間はとれないだろうと思っていました。

小林 生協は、「食の安全を確保するための社会システム」を求める署名運動を、他の団体のみなさんと一緒に取り組んできました。それが昨年五月に「食品安全基本法」の制定、食品衛生法の改定というかたちで実

佐村 はい、やっていません(笑)。でも、東京にいるときは、子どものお弁当だけはつくっていました。最近、子どもに「お母さんの得意料理って何だと思う?」と聞くと、冬瓜とうがんのあんかけやスープ、それにお弁当の「必殺卵焼き」をあげましたね。

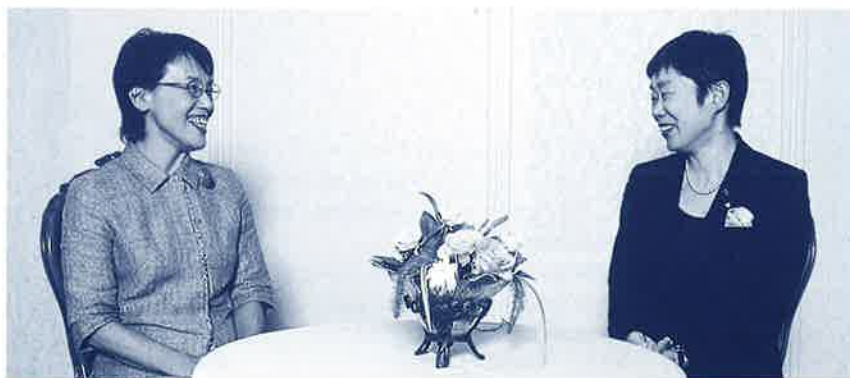
小林 「必殺卵焼き」……ですか?

佐村 いろんな野菜やシラスをきざんで入れた特製卵焼きなんです。「1日30品目を食べよう」といわれますが、朝と夜だけではそんなにたくさん品目がかせがないから、せめてお弁当で食べさせようと、思いついたんです。でも、子どもにいわせると「あれは卵焼きではない!」なんですって(笑)。

食の安心・安全めざして 行政・生産者・消費者のパートナーシップ

を結んだことは大きな成果だと思っています。ただ、「法律ができたから、もう安心」ではなく、その後も「コープさくら卵不正出荷事件」や鳥インフルエンザの発生がありました。

佐村 ほんとうにそうです



ね。生協は、消費者と生産者を結ぶ立場に立っておられるだけに、とくに卵の事件ではたいへんなご苦勞をされたと思います。

小林 卵の不正出荷事件は「いつもと違う味がする」という組合員からの発信で明らかになりました。コープさくら卵は組合員からとても支持されている商品です。そして、生産者組合とは、養鶏場訪問などもふくめて長く交流を深めてきました。それだけに組合員も職員も大きなショックをうけました。法を整備するということとあわせて、消費者の信頼にこたえ、安全な食べ物をつくるという生産者のモラルが大切で、その前提があつてこそ、チェックシステムも有効にはたらくのだと思います。そういった意味で今回の卵不正出荷事件は、とてもむずかしい問題があつたと思っています。

京都府は、鳥インフルエンザ問題をうけて「食の安心・安全プロジェクト」を立ち上げ、佐村さんはその責任者になられましたね。

佐村 京都府としては、これまでも、農林水産部は京野菜を

はじめ府内産の農林水産物の安全確保やトレーサビリティシステムづくりなどに懸命に取り組んできましたし、保健福祉部も食中毒対策をはじめ食の安全に取り組んできました。でも、横断的に取り組む場がなかったんですね。そこで今回、食品の安全対策や食の問題に関する消費者・府民のみなさんとのコミュニケーションのあり方、地産地消などもふくめて、タテ割りの壁をこえて横断的に取り組むプロジェクトを発足させました。このような場ができたことは、一歩前進だと思っています。

小林 さんにもプロジェクトが担当する「食の安心・安全アクションプラン」の政策立案メンバーになつていただきましたが、検討会議の場で「安心と安全は違う」とおっしゃいましたね。あれは非常に印象的な言葉でした。京都府は農産物の生産履歴情報を提供するトレーサビリティシステムづくりに取り組み、安全な食品づくりは一定進んだと認識していますが、いくら「これは安全です」といっても、消費者はそれで安心されるわけではないんですね。食品は、何

を原料に、誰がどんなプロセスをつくったのか：といった面が他の製品にくらべてとてもデリケートですから、それを消費者のみなさんにきちんと伝えるには特別なスキルが必要なのだらうと思います。

小林 リスクコミュニケーションの問題ですね。生協組合員も、とかく「白か黒か、安全か安全でないのか」を問う傾向があります。でも食品に限っては、トレーサビリティシステムやそれにもとづく徹底した情報提供をしてもなお、「リスクはゼロ、100%安全」ということはありえない。このことの理解がなかなかむずかしいので、生協として食品のリスクについて学ぶ場をもっとつくらないといけないと思っています。

それと、卵のトレーサビリティシステムについては検討をお願いしたいと思いますが、平飼卵などを生産している小規模農家は大規模な養鶏場と同じ基準では負担が大きすぎるので、ぜひ農家の実情に合わせた取り組みをお願いしたいと思います。

佐村 たしかに、トレーサビリティシステムにしても、ハサ





ップ（HACCP）にしても、大規模養鶏の基準を庭先養鶏にも当てはめようとすると、ハードルが高すぎたりして無理がでてうまくいかないことが考えられます。この点はよく検討して

いく必要があると思いますね。それに、伝統的においしいといわれるものは、比較的小規模でつくられている場合が多いように思います。

それにしても、小規模農家へ

の配慮といったお話が出るのは、消費者と生産者を結ぶ立場で取り組んでこられた生協ならではのしょうし、私も行政としてもパートナーシップがとれる部分だと思っています。

「食育」——子どもたちの「食べる力」は「生きる力」

小林 リスクコミュニケーションや次代の消費者を育てることなどを考えると、やはり「食育」が大きな課題ですね。

佐村 子どものころにどんな味覚や食習慣を身につけるかは大事だと思います。わが家の場合、私も夫も働いてきましたので、子育ては必然的に義母などの手をかりましたが、そうすると子どもも自然に野菜や魚の味に親しむようになりました。専門家の話によると小学校低学年ぐらいの時期が大事だそうですから、そのころに給食などを通して食べ物についてきちんと教えることが大切だろうと思います。

小林 地元産の農産物が給食の食材になり、教室では生産者の方がたと子どもたちが交流する……なんてことができればいい

ですね。

佐村 学校給食は、安定的な供給量の確保やコストなど、クリアしなければならぬ課題も多いのですが、いま農林水産部では「いただきます。地元産」プランや「ブランド京野菜等倍增戦略」を通じて、府内産農産物の流通対策に取り組んでいます。子どももふくめた消費者と生産者が結びつくように、私も行政もいっそうの工夫と努力をしていかなければと思っています。

小林 いまは、生産と消費の距離が遠くなっています。生産者と消費者がもっと交流し、お互いを理解しあう機会が必要だと思っています。京都生協では、多くの組合員が子どもたちと一緒に産地に出かけて体験や交流をしています。もっと産地を応

援しようという「商品サポート——」という活動も広がっています。生産者の方も店頭に立っていただいて、直接消費者の声を聞く機会をつくっています。また、大学生協でも、食に関心をもった学生委員さんたちが生産者との交流や、食堂のメニューに取り入れられたといった活動がさかんになってきています。次世代の人たちに「食べる力」つまり、「生きる力」をしっかりつけてほしいと思っています。

佐村 ほんとうにそうですね。こんご、食の安心・安全対策をすすめていくうえで、生協のお力をおかりする場面もあるかと思いますが、よろしくお願ひいたします。

小林 こちらこそ！（笑）きょうはありがとうございました。



（写真撮影・二〇〇四年七月八日 有田 知行）

消費者政策の充実・強化を めざすとりくみについて

消費者保護基本法が 抜本改正されました

5月26日(水)、第159回
通常国会で、「消費者基本法
(改正消費者保護基本法)」が議
員立法により、全会一致で成立
しました。

この法律は、近年消費者トラ
ブルが増えつづけている問題を
ふまえ、消費者と事業者の構造
的な力の格差を是正し、国民の
くらしの安全・安心を実現する
ために抜本改正が求められてい
たものです。

新しく成立した「消費者基本
法」には、この間、全国消費者
団体連絡会が提言してきた消費
者権利の法目的や基本理念への
明記、行政・事業者・消費者そ
れぞれの責務と役割の見直し、
消費者政策の基本計画に関する
規定の新設、苦情処理・紛争解
決の促進、国の推進体制の強化、
国民生活センターの役割などの
諸点について、消費者の主張が
大きく反映された内容となって

おり、私たちは安心して暮らせ
る社会に向けての一步を踏み出
すことができました。

次のステップとして、今後は
消費者権利の実効性を確保する
ために、消費者基本計画の策定
や、消費者団体訴訟制度(団体
訴権)の制定をすすめることが
必要であり、基本計画には消費
者基本法の趣旨に沿って消費者
関連法制の見直しを位置づけて
いくことが重要です。

さらに、国や自治体の消費者
問題に関する政策推進窓口を設
置するとともに、それらをつな
ぐ横断的な行政機関が求められ
ています。あわせて地方レベル
での消費者行政の見直しも必要
です。

制定された「消費者基本法」
の趣旨に沿って、地方自治体の
条例改正、消費者行政の充実強
化の活動をすすめていきましょ
う。

公益通報者保護法が 成立しました

今国会では、6月14日、新た
に「公益通報者保護法」が成立
しました。

これは、内部関係者からの通
報を契機に発覚した企業不祥事
が統発するなかで、公益のため
の通報を行ったことを理由に労
働者が不利益な取り扱いを受け
ないように、公益通報者の保護
を目的に制定されたものです。

この法案作成や国会審議の過
程において、日本生協連では、

①公正な運営や事業者のコンプ
ライアンス経営を促進し、社
会的利益を擁護する見地から、
公益通報者を保護する制度の
導入は不可欠であること。

②通報の対象について、全ての
法令違反行為等を対象とする
包括的な制度とすること。

③外部通報要件について、要件
を厳しくしすぎることなく、
通報を萎縮させないようにす
ること。

④本制度の対象とならない内部
告発については、引き続き労
働法制上の法理が適用される
旨を明確にすること。

などの主張を行ってきました。

このたび成立した「公益通報
者保護法」には、残念ながら通
報の対象や外部通報要件等に関
する主張は反映されませんでした
が、国会で議論された論点が、
衆参両院の内閣委員会において
附帯決議としてそれぞれ全会一
致で採択されました。

法案の検討過程では「密告奨
励制度」として反対する声も強
く出されましたが、そうしたな
かで「公益通報者保護」という
概念を法定したことに意義があ
ると考えます。

今後は、法律の運用を通じて
問題点を明らかにし、附帯決
議をふまえながら改善を図って
いくことが必要であると考えま
す。

京都府生協連第51回通常総会開催

～全議案を可決・承認～

小林智子新会長理事をはじめ、役員22名選出



6月8日（火）、池坊学園洗心館にて開催されました

6月8日（火）午後1時30分より、池坊学園洗心館で、「京都府生活協同組合連合会 第51回通常総会」が開催されました。今総会の代議員総数は41名で、当日の代議員出席は41名（うち委任出席1・書面出席8）、役員・来賓ほかあわせて、70名の参加となりました。



開会のあいさつをのべる
吉田智道会長理事

吉田智道会長理事が開会のあいさつをのべ、つづいてご来賓のみなさんをご紹介しました。



京都労働者福祉協議会
木戸美一会長

【黄瀬次長には、京都府山田啓二知事の祝辞を代読いただきました】



京都府商工部
黄瀬謙治次長

京都府知事山田啓二さん（代理・京都府商工部次長 黄瀬謙治さん）、京都労働者福祉協議会会長 木戸美一さんからは、それぞれご祝辞をいただきました。

また、オブザーバーとして、日本生協連関西地連事務局長 川村恵彦さんにご参加いただきました。

あわせて、京都府議会議員、京都市長、国会議員、関係団体、各生協などからいただいた63通の祝電・メッセージをご紹介しました。

《お寄せいただいた祝電・メッセージ》

（順不同・敬称略）

民主党衆議院議員	玉置 一 弥	民主党衆議院議員	泉 ケンタ	民主党参議院議員	福山 哲郎	民主党参議院議員	松井 孝治	公明党衆議院議員	山名 靖英	公明党衆議院議員	池坊 保子	日本共産党衆議院議員	こくた 恵二	日本共産党参議院議員	市田 忠義	日本共産党参議院議員	西山 とき子	京都府議会議員	田坂 幾太	京都市長	梶本 頼兼	京都商工会議所会頭	村田 純一	J.A.京都中央会会長	中川 泰宏	京都府漁業協同組合連合会代表理事会長	上田 功	京都府社会福祉協議会会長	北川 龍一
----------	--------	----------	-------	----------	-------	----------	-------	----------	-------	----------	-------	------------	--------	------------	-------	------------	--------	---------	-------	------	-------	-----------	-------	-------------	-------	--------------------	------	--------------	-------

提案された8つの議案について、1〜7号の各議案は満場一致で可決・承認されました。8号議案 役員選挙については、理事・監事とも立候補者数が定数内であったため、役員選挙管理委員会の委員長より、定款と役員選挙規約にもとづき全員を無投票当選とする旨が当日会場にて報告されました。

今期の役員改選で吉田智道会長理事が退任、総会途中に開催された理事会で、新しい会長理事に小林智子理事が選出されました。



会長就任のあいさつをする
小林智子新会長理事

【今回退任されたみなさん】

会長理事 吉田 智道さん
(員外)
理事 森川 隆さん
(やましろ健康医療生協理事)
監事 宮村 浩一さん
(京都大学生協常務理事)

2004年度体制 8月1日現在 (敬称略)

会長理事	小林 智子 (京都生協理事長)
専務理事	小 峰 耕二 (京都生協常務理事)
常任理事	小 川 正 (京都府庁生協常任理事(総括))
常任理事	酒 井 克彦 (大生協京都事業連合専務理事・池坊学園生協専務理事)
理事	栗飯原 利弘 (龍谷大学生協専務理事)
理事	大 関 健朗 (乙訓医療生協専務理事)
理事	大 竹 聖和 (同志社生協専務理事)
理事	大 塚 正文 (京都橘女子学園生協専務理事)
理事	木 村 世志雄 (全京都勤労者共済生協専務理事)
理事	黒 岩 卓美 (生協エル・コープ常務理事)
理事	佐 藤 京子 (やましろ健康医療生協理事長)
理事	吹 田 知久 (京都府医大・府大生協専務理事)
理事	平 信 行 (京都大学生協専務理事)
理事	高 田 艶子 (京都生協常任理事)
理事	田 中 弘 (京都医療生協専務理事)
理事	寺 尾 正俊 (京都教育大学生協専務理事)
理事	沼 沢 明夫 (立命館生協専務理事)
理事	松 浦 順三 (京都・吉備維大学生協専務理事)
理事	行 松 龍美 (やましろ健康医療生協専務理事)
監事	島 田 浩 (京都府庁生協監事)
監事	新 堀 悟史 (乙訓医療生協理事)
監事	佃 政 治 (京都大学生協常務理事)
事務局	坂 本 美也子 (事務局長)
事務局担当	川 端 浩子

12名が活発な発言

当日は、12名の代議員・理事から、食の安全・くらしの安心をもとめるとりくみや商品活動、平和のとりくみなどについて活発な発言がありました。

これらの発言をふまえ、小峰専務理事は、「豊かな組合員活動が交流できた。生協としての社会的な発言、政策提案の場が広がってきており、府連執行部としても力量をつけ、社会的要請にこたえていく」とのまとめをおこないました。

【発言者と発言テーマ】

1. 「食の安全確保と消費者保護基本法抜本改正のとりくみから見てきたもの」



京都生協
金澤栄子 代議員

2. 「京都橘女子学園生協の食堂のとりくみ」



京都橘女子学園生協
東川絹子 代議員

3. 「組合員主体を基本に10年」



生協エル・コープ
中本式子 代議員

4. 「私たちの商品・私たちのお店」



京都生協
斎藤紀子 代議員

5. 「楽しみながら気楽にとりくむをモットーに」



乙訓医療生協
中村幹生 代議員

6. 「食の大切さを実感する活動」



立命館生協
藤城裕佳子 代議員

7. 「パフェが食べたいという声をかたちに」



京都府医大・府大生協
笠井宏規 代議員

8. 「10年目を迎えたやましろ健康医療生協のとりくみについて」



やましろ健康医療生協
行松龍美 代議員

9. 「平和のとりくみを旺盛に」



京都医療生協
あざみ祥子 代議員

10. 「生活保障設計について」



全京都勤労者
共済生協
佐藤典治 代議員

11. 「京都府生協連の男女共同参画委員会のとりくみについて」



京都府生協連
高田艶子 理事

12. 「平和への願いを行動することので伝えよう」



京都生協
西山政子 代議員

全国の平和への想いを引き継いで 滋賀～京都～奈良 ピースアクション2004 京都～平和行進～



行進者を激励する
小林智子会長理事



開会のあいさつをのべる、
ピースアクション2004京都
吉田智道実行委員長

6月21日(月)、ピースリレー(平和行進)が滋賀県から京都府へ引き継がれました。この日は台風による暴風雨警報が発令されたため予定していた市内行進は中止。社会福祉会館ハートピア京都で関係者30名による引き継ぎ式が開催されました。

国際的にはイラク問題が大きな影を落とし、来年2005年には日本が原爆投下60周年を迎えようとしている今、世界から核兵器を廃絶し、戦争の火種をなくそうという組合員・府民の願いを、多彩な平和のとりくみでつなぎあうことができました。

〔6月21日 滋賀・京都引き継ぎ式／日本海コース出発式〕



今年は府外から2人のとおし行進者が参加。左から、わかやま市民生協 井上博之さん、京都生協 青山悦子さん、東都生協 東かづみさん



日本生協連の横断幕が滋賀県の実行委員会から手渡されました。左がピースアクション2004しが実行委員長の小寺喜代美さん



京都生協の門脇専務理事も行進に参加(先頭左)



乙訓医療生協から大関専務理事(写真左)をはじめ多数が参加。行進者にTシャツと折鶴のレイがプレゼントされました。右は行進者激励のあいさつをする小野留美子さん



〔6月24日 向日市／長岡京市／大山崎町／八幡市〕



やましろ健康医療生協からも佐藤理事長、行松専務をはじめ多数が参加。佐藤理事長が奈良への引き継ぎあいさつをおこないました。



南山城村 橋本洋一村長が行進に参加。激励のごあいさつをいただきました。

〔6月26日 木津町／奈良県へ引き継ぎ〕



〔6月25日 宇治市／城陽市／京田辺市〕

「6月22日 学習講演会「平和と核問題」&立命館国際平和ミュージアム見学会」

ピースアクション実行委員会・「平和友の会」共催



講師は立命館国際平和ミュージアム館長・立命館大学教授安斎育郎先生。とてもわかりやすくお話しいただきました。



京都大学留学生委員会より4人の留学生が母国や日本の平和について率直に語り、好評でした。

「6月23日 学習交流会「留学生が語る世界と日本の平和」」
「原爆展掘り起こしの会」による原爆・イラクのパネル展示も同時開催

6月23日 学習講演会「ふりそでの少女との出会い」

6月23日(水)、せいきょう会館で学習講演会「ふりそでの少女との出会い」が開催され、30名が参加しました。

絵本『ふりそでの少女』は、長崎の原爆の犠牲となった二人の少女、大島史子ちゃん(12歳)と福留美奈子ちゃん(9歳)が、最期に晴着を着せてもらい茶毘にふされた様子を描いたもの。

今回の講演会は、絵本の原作者であり、自らも長崎で被爆した松添博さんをお迎えし、原爆投下直後の惨状とあわせ、運命とも思える少女たちとの出会いについてお話しいただきました。少女の関係者を探し続けた松添さんは、史子ちゃんの同級生の藤田晴子さん(京田辺市在住)



絵本『ふりそでの少女』の原作者、松添博さんをお迎えしました。



や美奈子ちゃんの母福留志なさん(綾部市在住 102歳)に二人の少女の最期を伝えることができ、「やっと少女たちから頼まれたことを果たせたと思った」と話されました。



余江勝彦さん



伊達順子さん



藤田晴子さん



京都生協コープにしがも にじのこ文庫 三上啓子さんが絵本を朗読

当日は昨年の平和学習講演会でお話しいただいた藤田晴子さん、伊達順子さん(綾部市在住、志なさんの願いを受けた綾部の

中・高生が中心となった「ふりそでの少女像を作る会」事務局)、長崎の原爆資料館に設置されたふりそでの少女像「未来を生きる子ら」の製作者・余江勝彦さん(舞鶴市在住)にもご参加いただき、少女たちへの思いをお話しいただきました。

今回の学習講演会終了後、松添さんは伊達さん、藤田さん、余江さんらとともに美奈子ちゃんの母志なさんを綾部に訪ねられ、3年ぶりの再会を喜び合われました。講演会参加者が書いた志なさんへの寄せ書きも届けていただきました。



2004年 国際協同組合デー 第15回 京都集会開催

「いま地産地消があたりらしい」 協同組合がはたす役割」をテーマに

7月7日(水)、京都市下京区のキャンパスプラザ京都を会場に、「2004年国際協同組合デー・第15回京都集会」が開催され、JA、漁連、森連、生協から160人が参加しました。

これは、京都の協同組合運動の発展を願い、毎年開催されるもので、主催は京都府協同組合連絡協議会(構成:JA京都中央会・京都府漁業協同組合連合会・京都府森林組合連合会・京都府生活協同組合連合会)

全体集会

全体集会は京都府漁業協同組合連合会総務部指導課 濱中貴志係長の司会で開会、JA京都中央会 小瀧茂専務理事より開会のごあいさつをいただきました。



J A 京都中央会
小瀧茂専務理事

【話題提供・講演】

はじめに農林水産省近畿農政局 永江啓一 次長より、「米粉を利用した商品づくり」と題した話題をご提供いただきました。



農林水産省近畿農政局
永江啓一 次長



つづいて「地産地消県民運動・岡山県のとりくみ」をテーマに、岡山県農林水産部農政企画課 黒田忠明 主幹にご講演いただきました。



岡山県農林水産部 農政企画課
黒田忠明主幹

【各連からの活動報告】

JA、漁連、森連、生協より活動報告がされました。

◇NPO法人「京の農産物あんしんネットワーク」の設立について



J A 京都中央会
営農法人育成課
大槻松平課長

◇問人カニの販売拡大のとりくみ



丹後町漁業協同組合
田中郁代参事

◇京都・森と住まい百年の会の設立について



京都・森と住まい
百年の会
田村宏明代表理事

◇地元産商品取扱い拡大

～中元・歳暮のとりくみ



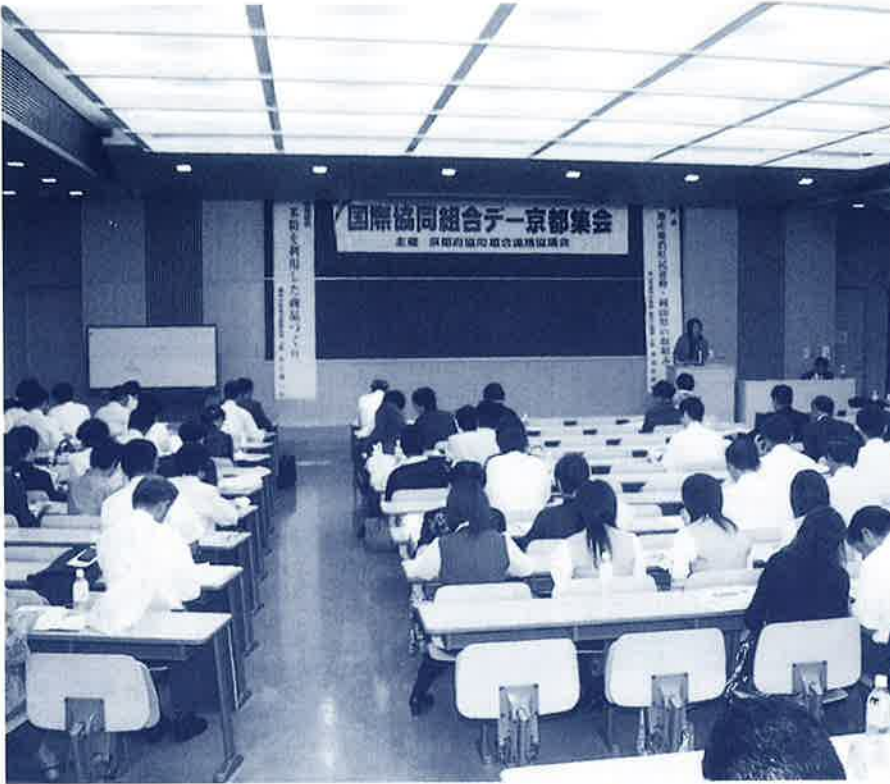
京都生協
カタログサービスマネジメント部
吉田恵子商品担当(ギフト)

地産地消をテーマとして、米粉の商品作りや岡山県のとろくみ、また各協同組合のさまざまな活動報告に、参加者からは「米粉の商品開発や岡山県の報告は農業に関わるものとして励みになった」「京都府の地産地消について考えるよい機会となった」などの感想が多く寄せられました。



京都府生協連
小林智子会長理事

京都府生協連 小林智子会長理事
事が閉会あいさつをのべ、終了しました。



午前の部 京町屋見学・女性交流会

全体集会に先立って午前中に行なわれた京町屋見学には25名が参加し、京野菜をとりあつかう「かね松」さん、遊墨漫画家南久美子さんのイラストを展示している「ユーモアギャラリー・Machiya deほつ」さん、お酒と地ビールの「キンシ正宗堀野記念館」さん、能舞台のある「古武家」さんを見学しました。



同じく午前中の「女性交流会」は、「協同組合の元氣をつくる女性たち」地域で・職場で・家庭で生き生きとくらそう」をテーマに開催され、各協同組合から59名が参加し、交流しました。京都府生協連 高田艶子理事の司会ですすめられ、小林智子会長理事が開会あいさつをのべました。

第一部は各協同組合からの報告、第二部は報告された内容をふまえ、6つのグループに分かれて意見を交流しました。

《女性交流会報告者とテーマ》

◇力キの養殖をやってきてよかった



京都府漁婦連委員長
湊漁協婦人部長
和田智恵子さん

◇「わたしらしく」生き生きとして



京都生協理事
三宅いづみさん

◇地域にとけこむ活動について



京都市森林組合
みなもと会
久保清美さん

◇男と女 できることからチャレンジしよう



JA京都やましろ
組織代表理事
水野紀代美さん



グループ交流には「もっと話したかった」「また交流できる機会がほしい」という声が出るなど、楽しく懇談することができました。

JA京都府女性協 豊田勝代
会長より閉会あいさつがあり、終了しました。



JA京都府女性協
豊田勝代会長

第39回 学生の消費生活に関する実態調査報告

全国大学生生活協同組合連合会（作成／京都事業連合）

この調査は、大学生の生活や行動と生協の利用状況などを明らかにし、生協の諸活動の発展と学生生活の充実に役立てることを目的に毎年行なわれているもので、1963年からとりくまれています。全国約100大学4万人の参加のもとに実施され、社会的にも高い評価を得ています。

（2003年10月実施の調査報告より一部抜粋して掲載）

【1ヶ月の収入】…引き続き収入は減少。自宅生の奨学金増が目立ちます。

自宅生 63,850円

	2002年(円)	2003年(円)	対比(%)	増減(円)
合 計	64,130	63,850	99.6	-280
仕 送 り	21,070	17,640	83.7	-3,430
アルバイト	33,340	32,750	98.2	-590
奨 学 金	8,150	10,830	132.9	2,680
そ の 他	1,570	2,630	167.5	1,060

自宅外生 130,030円

	2002年(円)	2003年(円)	対比(%)	増減(円)
合 計	137,130	130,030	94.8	-7,100
仕 送 り	94,280	85,720	90.9	-8,560
アルバイト	23,230	23,560	101.4	330
奨 学 金	17,920	18,580	103.7	660
そ の 他	1,700	2,180	128.2	480



【1ヶ月の支出】…収入減で、さらに生活費は引き締めて！

自宅生 60,010円

	2002年(円)	2003年(円)	対比(%)	増減(円)
合 計	60,280	60,010	99.6	-270
住 居 費	150	230	153.3	80
食 費	10,150	9,490	93.5	-660
書 籍 費	2,200	2,120	96.4	-80
教養娯楽費	7,600	7,670	100.9	70
そ の 他	40,180	40,490	100.8	310

自宅外生 124,930円

	2002年(円)	2003年(円)	対比(%)	増減(円)
合 計	131,830	124,930	94.8	-6,900
住 居 費	54,020	51,480	95.3	-2,540
食 費	27,840	25,930	93.1	-1,910
書 籍 費	3,200	2,720	85.0	-480
教養娯楽費	9,690	9,950	102.7	260
そ の 他	37,090	34,840	93.9	-2,250

【大学生生活での重点】…昨年に続き勉強第一派がトップ。

自宅生 63,850円

	2002年(%)	2003年(%)	増減(%)
勉強第一	25.9	27.1	1.2
クラブ第一	13.5	13.0	-0.5
趣味第一	10.5	9.4	-1.1
豊かな人間関係	17.0	19.3	2.3
資格取得第一	6.2	6.3	0.1
バイトや貯金	2.8	2.1	-0.7
ほどほどに組み合わせ	17.0	14.8	-2.2
なんとなく	4.9	4.9	0
その他	0.9	2.0	1.1



▲2004.5.26 京都橘女子学園生協総代会
◆2004.5.27 池坊学園生協総会

府内養鶏家を励ますつといを JAと共催

4月15日(木)、コープイン京都で「鳥インフルエンザに負けるな!がんばる京都府内養鶏農家を励ますつといを」をJA京都中央会と共催、170名が参加しました。

京都生協からは小林智子理事長と西ブロック南丹地域の組合員が参加し、JAとともに苦境にある養鶏農家を励ました。



京都生協からは小林智子理事長と南丹地域の組合員が参加。中央はJA京都中央会の中川泰宏会長。

山田啓二京都府知事から お礼状をいただきました

2月29日に丹波町で発生した高病原性鳥インフルエンザは、4月13日午前零時に移動性制限措置が解除されました。

終息宣言の後、山田啓二京都府知事から吉田智道会長理事(当時)あてに、この間の京都

府生協連の養鶏農家を励まし、支援するとりくみへのお礼状をいただきました。

拝啓 新緑の頃、佳き御清祥のことと拝察申し上げます。さて、去る二月二十九日に京都府丹波町で発生いたしました高病原性鳥インフルエンザにつきましては、発生以来皆様方には大変な御苦慮をおかけしてまいりました。多くの皆様方の御支援、御協力により、四月十三日の午前零時をもって、移動性制限措置が解除、無事終息することができました。

今回の被害は、二十万羽を超える大規模養鶏場で発生いたしました。川崎市の既に大量感染・大量死の状況となつておりました。まさに近隣の養鶏場でも発生するかと、我が国ではこれまでに例のない大規模な、被害は疫病予防防衛の協定を結ぶ。まさに、非常事態とすべき状況でありました。

また、京都府・大阪府・兵庫県・徳島県にまたがり、感染拡大の恐れがございました。京都府でも二十万台の被害が予想されるなか、おたのめ緊急事態に立ち上がり、まん延防止対策や予防の徹底を図るべく、四月十三日の午前零時をもって、移動性制限措置が解除されました。京都府としましては、被害の拡大を防ぐべく、おたのめ緊急事態に立ち上がり、まん延防止対策や予防の徹底を図るべく、四月十三日の午前零時をもって、移動性制限措置が解除されました。

京都府としましては、被害の拡大を防ぐべく、おたのめ緊急事態に立ち上がり、まん延防止対策や予防の徹底を図るべく、四月十三日の午前零時をもって、移動性制限措置が解除されました。

山田啓二

京都生協「ジェンダーフリー」 を考える懇談会」と共催で学 習会開催

4月24日(土)、せいきょう会館で、学習会「お父さんの育児休業体験記」を開催、10名が参加しました。

京都府生協連男女共同参画委員会と京都生協の「ジェンダーフリー」を考える懇談会」の共催で、育児休業を取得した京都生協の男性職員、金山修さんに体験を報告していただきました。

「きょうと食の安心・安全政策検討会」開催

7月1日、第1回きょうと食の安心・安全政策検討会が開かれ、京都府生協連からは小林智子会長理事が委員として参加しました。当日は京都府・佐村副知事があいさつ、座長には京都府立大学人間環境学部の中坊幸弘教授が選任されました。



「京ブランド食品認定委員」 に小林会長理事が就任

京都府食品産業協議会(野村善彦会長)主催による「京ブランド食品認定委員会」が発足。小林智子会長理事が委員に就任しました。

京都商工会議所との懇談会が開催されました

7月14日(水)、京都商工会議所特別会議室で、「京都商工会議所・京都府生協連懇談会」が開催されました。



左から、中小企業経営相談センター 和田正昭副所長、小堀脩専務、中小企業経営相談センター湯浅正所長

「京都府中山間地域等直接支払制度委員」に小林会長理事が就任

京都府から要請があり、「京都府中山間地域等直接支払制度委員会」委員に小林智子会長理事が就任しました。

商工会議所からは小堀脩専務理事、中小企業経営相談センター・湯浅正所長、和田正昭副所長が参加。

京都府生協連からは、小林智子会長理事、小峰耕二専務理事、京都生協社会的責任経営推進室 谷口勲役員秘書、坂本茂事務局長、酒向美也子事務局担当が参加しました。

京都商工会議所からは、「京都の地域経済の動きや特徴、中小企業の状況や課題」「平成16年度京都商工会議所の取り組みや事業」等について、京都府生協連からは「生協事業の特徴」「食の安全」「消費者政策」等の取り組み等について報告し意見を交換しました。

おもな行事のお知らせ

2004年度 京都府総合防災訓練

主催：京都府総合防災訓練推進会議
日時：9月5日(日) 7:00～11:00
主会場：相楽郡木津町

(私の仕事館西側空地)

※京都府生協連はJAグループとともに緊急物資搬送訓練に参加。

京都府内産 米・かしわ・たまごフォーラム

主催：京都府生活協同組合連合会
日時：10月7日(木) 10:30～14:00
会場：平安会館

内容：第Ⅰ部 シンポジウム
第Ⅱ部 鶏肉・卵を使ったごはん料理の試食

第16回 KYOのあけぼのフェスティバル ワークショップ

主催：KYOのあけぼのフェスティバル実行委員会
日時：10月16日(土)～17日(日)
※京都府生協連は16日(土)午後、もしくは17日(日)午前・午後のいずれかのワークショップで参加予定

京都・丹波「丼・どん」元氣が出るテント村 フェスティバル

主催：京都府生活協同組合連合会
日程：10月17日(日) 11:00～14:00
会場：丹波自然運動公園
※チキンカレーや焼き鳥丼など、鶏肉・卵を使ったごはん料理を中心とする試食品多数。
※第3回勤労者健康スポーツフェスティバルと同時に開催。

京都府協同組合職員体験・交流学校

主催：京都府協同組合連絡協議会
(JA・漁連・森連・生協)
日時：11月5日(金)～6日(土)

2004 京都 たべるといせつフォーラム (第11回京都府生協大会)

主催：京都府生活協同組合連合会
日時：11月10日(水) 10:00～14:00
会場：平安会館
テーマ：「いまたいせつにしたい『食』とは「食育を考える」
内容：第Ⅰ部 講演・フロアディスカッション
第Ⅱ部 試食会「京のおばんざい」

平成16年度 京都消費者フォーラム

主催：京都府・京都消費者フォーラム実行委員会
日時：12月11日(土)～12日(日)
両日とも10:00～16:00
会場：パルスプラザ
(京都府総合見本市会館)
1階第1展示場・他
※京都府生協連はワークショップで参加予定。

京都環境フェスティバル2004

主催：京都府・京と地球の共生府民会議、(財)自治総合センター
日時：12月11日(土)～12日(日)
両日とも10:00～16:00
会場：パルスプラザ
(京都府総合見本市会館)
※京都府生協連は会員生協の環境商品・とりくみ紹介で出展予定。

架空請求110番開設!!

身に覚えのない有料サイトの利用料金が請求される等の被害相談が急増しています

▼ 架空請求ハガキ例 ▼

電子消費料金未納分請求 最終通告書

この度で通知いたしましたのは、過去に貴方様ご利用になりました「電子消費料金未納分」についてです。期限までにご連絡がいただけない場合、お支払いの意思がないものと見なし、裁判所の許可の下で自宅に直接伺います。なお、不在の場合、会社等への給料や財産等の差し押さえ手続きを行わせていただきます。

担当者直通 090-xxxx-xxxx
最終受付期間 平成16年7月21日
(株)xx債権管理センター

相談専用電話 **075-821-8822**

相談受付時間 月～金(祝日を除く) 午前9時～午後5時まで

京都府消費生活科学センター

架空請求へのアドバイス

- 利用していなければ払わない
- 自分から相手に電話しない
- 催促メールやハガキは保管しておく

こんな請求が
きていませんか?



※利用した覚えがない請求等があった場合、最善の自衛策は無視することです。

京都府広報